

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 高い実践能力や実証研究能力を涵養するという教育目的を達成するために具体的な教育目標や方針を設定する。	→達成可能な目標や方針について関連するすべての広報媒体での公表。	C
2. 2013年度までに修士号と博士号の学位授与の方針および過程を明確化する。	→学位授与に至る方針および経過に関するロードマップの作成、指導体制の明示。	C
3. 教育目標、方針、課程および学位授与方針に関して、大学院関連のすべての広報媒体で公表する。	→大学ホームページ、大学院案内などすべての広報媒体における公表。	B
4. 教職員、大学院生により教育目標、方針、課程および学位授与方針の達成状況をアンケート調査により評価する。	→教職員、大学院生に対するアンケート調査の報告書の作成。	—

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

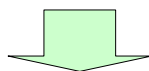
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆	小項目6.1.1	(方針) 高い実践能力や実証研究能力を涵養するという教育目的を達成するために具体的な目標、方針を設定し、それらを明示する。それらの達成状況を評価する。
☆	小項目6.1.2	(現状説明) 学部・大学院設置趣意書において学士・修士・博士課程の教育目標をすでに明示しており、2009年度はそれらに基づいて教育目標を様々な媒体で明示してきた。学位授与方針についてもホームページ等で明示している。習得すべき学習成果の明示は十分ではない面があった。
☆	小項目6.1.3	(現状説明) 教育目標に基づく課程の編成・実施についても、学部・大学院設置趣意書の中ですでに明示しており、公表している。なお、大学院設置の完成年度が前期課程は2009年度、後期課程は2010年度であり、それまで課程のカリキュラム編成を変更することができない状況にあるので、2009年度は大学院諸問題検討委員会において今後の教育課程の検討を行ってきた。
☆	小項目6.1.4	(現状説明) 教育改訂の編成・実施方針に関して大学構成員に周知され、社会に公表されているかという点については、すでにホームページ等の広報媒体で公表している。
☆	小項目6.1.4	(現状説明) 教育課程の編成・実施方針の適切性の定期的な検証の実施については、まだ完成年度を迎えていないこともあり、現状では定期的な検証を実施できる段階にはなく、取り組むべき今後の課題である。
☆	その他	進捗評価の「—」は、完成年度を迎えていないため、評価不可能であることを表す。

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



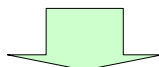
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.1.1	習得すべき学習成果の明示が不十分である。
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.1.1	習得すべき学習成果とは何かを明確化する。
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○学位授与方針の策定・公表、「改善すべき事項」に記載されている問題についての前進が望まれます。

【学内委員】

○現状説明の記述はおおむね明確です。

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.1.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.1.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.1.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.1.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの授業科目開設数
6.1.0.S5	必修・選択ごとの開設授業科目数
6.1.0.S6	系列別卒業必要単位数

<個別的な指標>
